

読書活動を広げましょう！

総合図書館の本の貸し出しには、「個人貸出」と「団体貸出」があります。また、施設内には「学校図書館支援センター」があります。今回は「団体貸出」と「学校図書館支援センター」について紹介します。子どもたちの読書活動推進を図るために、活用していただけたらと思います。

「団体貸出」地域・学校の読書活動を広げるサポート

団体貸出は、現在 415 団体が登録されています。1 団体 1000 冊までとし、貸出期間は団体の希望に応じて 3~6 か月です。本の選本には「総合図書館団体貸し出し」に来ていただき、約 19 万冊の中からどの本を借りるかを選んでもらいますが、その中の 3 分の 2 は常にどこかの団体に貸し出していますので、実際は約 6 万冊の中から選んでいただくことになります。選んだ本は総合図書館から学校や公民館、幼稚園保育園等、各種団体に届けます。また、回収にも伺います。

学校図書館では読めない本もあり、また、新しい本もどんどん入っています。学級文庫に置いたり、コーナーを設けたりして、子どもたちの読書活動を推進してください。



種類別，作者別に配架されていて，選本しやすくなっています。また，読書相談員が選本など読書活動推進のための相談にも乗ります。



「学習支援」読書相談員が学校へサポート

学校図書館支援センターでは、ゲストティーチャーとして、読書相談員が授業のお手伝いをしています。

具体的には、公共図書館司書の経験を生かし、日本十進分類法に基づいての図書館の本の分類の仕方、また、おすすめの本、読み聞かせなどなど、子どもたちが読書に今以上に興味を持てるような授業のお手伝いを行います。子どもたちはもちろんのこと、先生方もなるほどと思える話が聞けます。

図書館プロの読書相談員をぜひ、要請してみてください。また、訪問した際は、図書室の整備等のお手伝いも併せて行っています。



「学習支援用図書」セット本で学習をサポート

子どもたちの学習に役立つ本をセットにして貸し出しています。(大豆に関する本、手話に関する本、作者に関する本、お米、リサイクル、宇宙、… などなど)

子どもたちの調べ学習時にもっと本があったらと思われることはありませんか？また、学校には置いていない本もあり、学習の幅が広がります。

セットの詳細については「学校図書館支援センターの訪問及び学習支援用図書の貸し出し」(通知)、もしくは学校図書館支援センターのホームページをご覧ください。

本年度より新しく教科書に採用された内容に準拠したセットの追加、これまでの5年間の利用アンケートの要望に合わせたセット内容の改訂も行っています。セットにない内容でも、蔵書の範囲でご希望に合わせて、読書相談員が用意することができます。

また、特別支援を要する子たちにぜひ利用してもらいたい「たっちるっく」セットも準備しています。このセットの中には、マルチメディア DAISY (絵本がパソコンで読めます。音声も入っていて、速さも変えることができます。) や、LLブック (内容は同じでも、やさしく分かりやすく書いてあります。) も入っています。

選ばれた本(セット)は総合図書館から学校まで届け、また、回収に伺います。貸し出し冊数は80冊、貸出期間は4週間です。

もちろん、中学校にも対応しています。

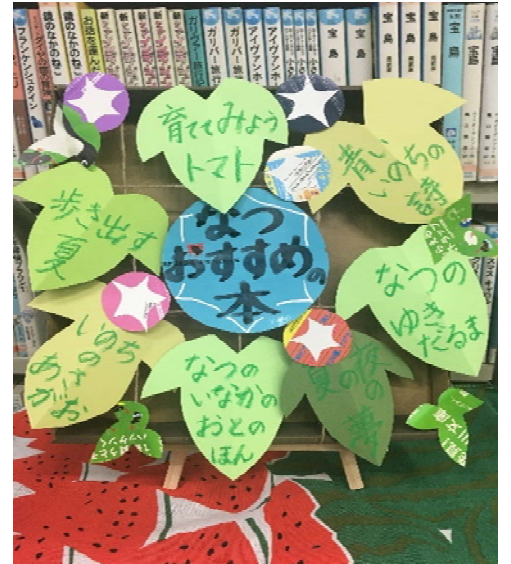
「学習支援用図書」を活用されたことがない学校はぜひ、活用されてみてください。



7・8月の展示・掲示あれこれ

本の帯やカバーを使って！
立体的に作ってみましょう！

「どの本にしようかな。」と、本選びに時間がかかる子どもたちがいます。そんな子どもたちのために、季節や行事に合わせた「おすすめの本」のコーナーは図書館にぜひ設けてほしいものです。



お菓子等が入っていた箱に紐をかけ、その上に本の帯やカバーで作った朝顔と葉っぱを貼り、スタンドに載せると、立体的になります。



折り紙の魚やクワガタと一緒に、帯で作った魚や葉っぱを掲示すると、変化があって、おもしろいです。

段ボールの紙をはがして、丸めて幹の感じをだしました。



荷造り用のシルバーテープに魚を貼っています。風に揺れて涼しそうです。

Hello! 学校図書館

横手小学校

今年度も、福岡市内の小中学校、特別支援学校を訪問し、図書館の様子などを紹介していきます。学校図書館の運営や環境づくりなどの参考になればと思います。

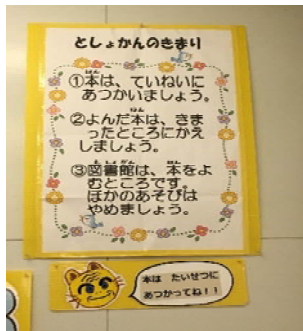
今月紹介させていただく横手小学校は、17学級482名の学校です。訪問させていただいたときは、新型コロナウイルス感染防止のため、午前中授業でしたが、図書館を利用している子どもたちの笑顔に出会うことができました。子どもたちが本を選びやすいように様々な工夫がある図書館でした。

○ 新型コロナウイルス感染防止のための安全対策の工夫



椅子の数を減らし、子どもたちが離れて座って読書をしたり、貸し出しカウンターには手作りのシートが設置されたりと、安全対策が取られています。

○ 図書館の決まりや貸し出し数がわかる工夫



子どもたちの見やすいところに、図書館内の地図や決まりが掲示してあります。

図書の時間の最初に、子どもたちと確認したいことです。

○ 子どもたちが季節を感じ本を選ぶことができる工夫



季節を感じることが薄れている子どもたちの感性に、本は大いに役立ちます。雨降りの日、暑い夏涼しい部屋で読み聞かせをぜひ行ってください。高学年、中学生にもぜひ！自分で読んでいると時とはちがった感想をもつことができます。



○日本十進分類法に基づいて本を選びやすい工夫



本の背のラベルの見方がわかりやすく、説明されています。
自分の読みたい本が早く探せるようになりますね。

○さまざまなコーナーの工夫



図書館に慣れていない1年生にやさしいコーナーが設けられています。また、子どもたちの本選びを助けてくれるコーナーも設けられています。

8月生まれの文学者たち

あまんきみこ（阿萬紀美子）と「車のいろは空のいろ」



1931年8月 満州生まれ

あまん氏は、14歳の時に満州から帰国し、その後、下の子が幼稚園に入園したのを機に、日本女子大学児童学科通信教育部に入学しました。この時に書いたレポートがきっかけで37歳の時に書いたデビュー作品が、「車のいろは空のいろ」です。

「車のいろは空のいろ」の主人公であるタクシー運転手の松井五郎さんが乗せる客が、動物だったり、ある時は、道路や地面でないところを走ったり、時間と空間を往復したりする物語です。

2人の子どもに話を考え聞かせてあげるのが好きだったあまん氏自身は、小さいころは病気がちで、寝て過ごすことが多く、窓から色々な想像を働かせて空の絵本を見ていました。また、雨が降っているところと晴れているところの境目に行ってみたいと思うなど、いろいろなことを不思議に思っていました。このような経験があまん氏の作品につながっています。

末吉暁子（すえよしあきこ）と「ざわざわ森のがんこちゃん」



1942年8月神奈川県横浜市生まれ2016年5月 73歳没

1996年より放送開始のNHK教育テレビの人形劇「ざわざわ森のがんこちゃん」の脚本を執筆し、小学校低学年の道徳の授業の教材としても使用されました。

「ざわざわ森のがんこちゃん」は、都会からまだ自然が残る「ざわざわ森」へ引っ越してきた恐竜一家と、その仲間達の物語です。設定では、環境汚染の影響で一部の地域を除いて地球は砂漠化し、人類は既に絶滅し、そこでは、かつて人間による遺伝子操作によってつくられた高度な知能を持つ恐竜などの動物達や河童などの架空の動物たちが、人類に代わり地球で文明を営んでいます。毎回のストーリーは子どもに分かりやすいですが、その設定は深いものです。

ロングセラー「ぞくぞく村のおばけ」シリーズや「ざわざわ森のがんこちゃん」のような幼い子どもの心をつかむ楽しい幼年童話と、論理性と空想性が一致した長編ファンタジーの分野との両輪で書き続けました。また、恐竜や怪獣を使った作品が多いのも特徴の一つです。

あとがき

通常の学校生活に戻りつつあるのと同時に、学校の図書館も開館されていることと
思います。安全面を考えた図書館運営、読書活動お疲れ様です。

長いお休みの間、学校に行けなくても、家で自分の世界や考えを広げることができ
る読書は、こんな時だからこそ力を発揮できるのではないのでしょうか。長いお休みの
間に読書の楽しさを感じた子どもたちもたくさんいることでしょう。今こそ、心に残
る1冊に出会えるチャンスです。

図書館員のひみつの本棚 第171回

今月は「さんすうのおかしばなし」の絵本をご紹介します。

『1つぶのおこめ さんすうのおかしばなし』

デミ／作 さくま ゆみこ／訳 光村教育図書 2009年 ¥1900(税別)

<お勧め年齢>

乳幼児☆☆☆ 小低学年☆☆☆ 小中学年★★★ 小高学年★★☆ 中学生★★☆
高校☆☆☆ 一般☆☆☆ (★が多い年齢の子どもにお勧めです。)

<本の紹介>

お米を独り占めする王様から、村娘が知恵を使ってお米を取り返すお話。

王様のかごからこぼれ落ちたお米を拾い集めた褒美に、村娘のラーニは、毎日前の日の倍の数のお米を30日間ほしい、と王様にお願いします。1日目は1粒、2日目は2粒、3日目は4粒、4日目は…30日目には、さて何粒のお米になっているでしょう。

<子どもに手渡す時のポイント>

絵がとても美しく、読み聞かせもできますが、大人数だと絵の細かいところが見えにくいと思います。読み聞かせをする場合、広げて見せるページがある、桁の多い数字が出てくるなど、しっかりと練習する必要があります。

数字がどのように増えていくかについて、巻末に表になっているので、それを見るととてもよくわかります。読み聞かせの時も、そのページまで読んであげるとよいと思います。

4年生の国語の教科書で紹介されている絵本です。

このコーナーで紹介した本はお近くの図書館や書店に置いてあります。ぜひ手にとってみてください。



発行：福岡市教育委員会 総合図書館 図書サービス課
電話：092-852-0639 FAX：092-852-0801